

### 1. 3 福井県立恐竜博物館と曹洞宗大本山永平寺の見学（地歴分野）

#### (1) 研究開発の課題（研究概要）

福井県立恐竜博物館の見学を通して先史の地球環境に興味関心を持たせるとともに、現在の自然環境を考える契機を促すことができる。また、永平寺と門前町の成り立ちを学ぶ事で、その地方の自然と文化に合わせた人びとの営みについて興味関心を持つ事ができる。

#### (2) 研究開発の経緯

3年ごとに第1次産業（農場）、第2次産業（工場）、歴史的建造物・町並みを対象として見学場所を設定していたが、本年度は昨年度同様、自然史に関する博物館と歴史的建造物をテーマに設定し、福井県立恐竜博物館と永平寺においてワークショップを実施した。

#### (3) 研究開発の内容

##### ア 仮説（ねらい、目標）

本事業は科学への関心や批判的思考力などの「科学リテラシー」を促すことができる。

##### イ 研究の内容・方法

該当教科 地歴・公民科

対象生徒 1・2年希望者 39名

日時場所 10月13日（土）福井県立恐竜博物館  
曹洞宗大本山永平寺

##### 実施内容

##### 見学「恐竜と禅の里を訪ねる」

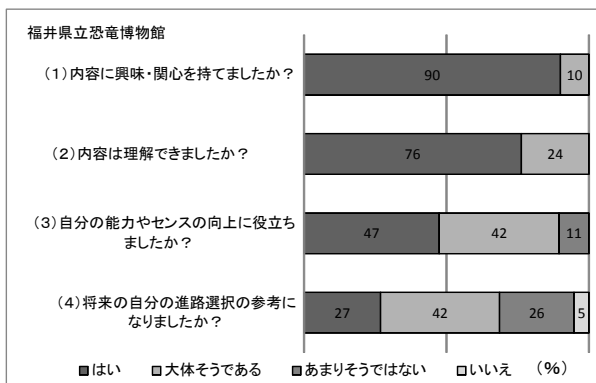
目的 恐竜博物館の見学を通じて、地質・地形の成り立ちと、生物の進化過程を理解し、現在の自然環境の在り方について考察を深める。

内容 恐竜博物館学芸員によるレクチャー 博物館施設自由見学  
永平寺自由拝観



永平寺を見学する生徒たち

##### ウ 検証（成果と反省）



恐竜博物館学芸員による講義の様子

##### 生徒の感想から

- ・恐竜博物館は5年ぶりに訪れたが、見学前の講義やこれまでの理科や社会の授業で得た知識をもとに展示物を見てみると、5年前とは違った発見があった。
- ・恐竜についてよく知っていると思っていたが、知らないことが多かった。恐竜の歴史やそれに携わる人達の仕事について知り、こういう人生もあるのだなと思った。

アンケート結果や生徒の感想から、多くの生徒が恐竜や福井、禅宗の歴史に対する興味関心を高めることができたようだ。また、感想にもあるように、日常の授業で得た知識が活用できたことは、今後の学習意欲向上にもつながる内容であったといえる。時間が足りないとの声が多かった事から、次年度以降の日程・見学地の選定に生かしていきたい。